

レジメン名

mFOLFOX6+bevacizumab

出典 大腸癌治療ガイドライン2014年版
エルプラット適正使用ガイド
アバステン適正使用ガイド

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

結腸・直腸癌
進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

好中球	500/mm ³ 未満	PLT	50000/mm ³ 未満
その他	上記基準またはGrade3以上の消化器系の毒性を認めた場合、次回投与時、L-OHPを65mg/m ² 、5-FUを20%減量。		

投与中止の基準

好中球	1500/mm ³ 未満	PLT	75000/mm ³ 未満
その他	神経毒性、アレルギーに注意 Grade3以上の高血圧、Grade4以上の蛋白尿		

1コース期間 14日

総コース数 PDまで

(次のコースまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ベバシズマブ	5mg/kg	NS100mL	初回60分※	day1
エルプラット(オキサリプラチン)	85mg/m ²	5%TZ250mL	2時間	day1
レボホリナート	200mg/m ²	5%TZ250mL	2時間	day1
フルオロウラシル(急速静注)	400mg/m ²	NS50mL	全開	day1
フルオロウラシル(持続静注)	2400mg/m ²	輸液適量	46時間	day1
※初回60分で忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①生食100mL ルート確保用
②ベバシズマブ5mg/kg+生食100mL(60分※) (2回目以降30分まで短縮可)
③アロキシ0.75mg+デキサート6.6mg+生食50mL (15分)
④エルプラット85mg/m ² +5%糖液250mL (2時間)
④'レボホリナート200mg/m ² +5%糖液250mL (エルプラットと同時に)(2時間)
⑤フルオロウラシル400mg/m ² +生食50mL(全開)
⑥生食50mL フラッシュ用
⑦フルオロウラシル2400mg/m ² +生食αmL計140mL (インフューザーポンプ使用にて46時間)
<内服> day2及び3 デカドロン(4mg)1錠 分1朝食後